

令和5年度 第3回 市川市社会福祉審議会 会議録

1. 開催日時

令和5年11月14日(火) 10時00分～11時30分

2. 開催場所

市川市役所第2庁舎4階 大会議室1、2

3. 出席者

【委員】

岸田委員(会長)、石原委員、岩松委員、菊田委員、木下委員、久保木委員、佐藤委員、坪井委員、松尾委員、松丸委員、松村委員、丸谷委員、村山委員、森高委員、山崎委員

【市川市】

荒井福祉部次長、池田福祉部次長、寺島地域共生課長、奥野地域包括支援課長、尾瀬介護保険課長、加藤障がい者支援課長、内池発達支援課長ほか

4. 傍聴者

0名

5. 議事

(1) 次期計画(案)について

- ①第5期市川市地域福祉計画
- ②第9期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画
- ③第5次いちかわハートフルプラン

(2) 第8期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 計画値と実績値のモニタリング(令和4年度分)

(3) その他

6. 配付資料

- ・会議次第
- ・資料1-①-1 : 第5期市川市地域福祉計画(案)
- ・資料1-①-2 : 第5期市川市地域福祉計画(概要版)
- ・資料1-② : 第9期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(案)
- ・資料1-③-1 : 第5次いちかわハートフルプラン(案)

- ・資料 1-③-2 : 障がい者福祉専門分科会や市川市自立支援協議会から
これまでいただいた質問・意見
- ・資料 2 : 第 8 期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画
計画値と実績値のモニタリング（令和 4 年度分）
- ・当日配布資料 1 : 令和 5 年度市川市高齢者福祉専門分科会における
委員発言と対応
- ・当日配布資料 2 : 保険料算定の考え方について

7. 議事録

(午前 10 時 00 分開会)

発言者	発言内容
岸田会長	<p style="text-align: center;">議題(1)次期計画（案）について ①第 5 期市川市地域福祉計画</p> <p>それでは、議題(1)「次期計画（案）について」です。本議題については、3つの分科会がこれまで開催されたことから、それぞれの分科会の会長より会議の報告をお願いし、続いて事務局から説明をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、「①第 5 期市川市地域福祉計画」から、地域福祉専門分科会の会長である森高委員よりご報告をお願いします。</p>
森高委員	<p style="text-align: center;">(資料 1-①-1 から資料 1-①-2 に基づき説明)</p>
岸田会長	<p>ありがとうございました。続きまして、所管課より説明をお願いいたします。</p>
地域共生課長	<p style="text-align: center;">(資料 1-①-1 から資料 1-①-2 に基づき説明)</p>
岸田会長	<p>それでは、委員の皆様からご意見やご質問などはございますでしょうか。</p>
松尾委員	<p>昨日、地区推進会議が開催されました。こちらの会議では、市川市から地域ケアを応援する地区社会福祉協議会の代表の方に、今回の第 5 期市川市地域福祉計画の説明をしていただいたところ、計画については適切に表現されていると感謝をされていたと同時に、コミュニティソーシャルワーカーの配置について要望がありました。現状、市内の東西南北に分かれ 4 名のコミュニティソーシャルワーカーが配置されていますが、地区ごとに適正な配置をしてほしいとのご意見です。具体的な配置数を決定することは難しいと思いますが、市のご意見をお聞かせください。</p>
地域共生課長	<p>コミュニティソーシャルワーカーの配置につきましては、今年の 7 月から開始した事業であり、今年度の取り組みの内容や課題を精査して、今後の配置数を検討していきます。</p>

岸田会長	<p>全体の進捗管理をしていくことが、今後非常に重要になってくると思います。評価項目も多く立てていただいておりますが、e-モニターアンケートや自己評価により達成度を測ることにより、進捗管理をしていくということでもよろしいでしょうか。</p>
地域共生課長	<p>その通りでございます。</p>
岸田会長	<p>自らが評価することと同時に、市民が客観的に見て進行状況をどう感じているかを確認することで評価精度は上がりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>計画の全体内容としても、成年後見制度利用促進基本計画と重層的支援体制整備事業実施計画が加わったことで、地域福祉の先端を行く内容となっていると感じます。</p> <p style="text-align: center;">②第9期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画</p>
岸田会長	<p>それでは次に、「②第9期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」について、本日は高齢者福祉専門分科会長の山下委員がご欠席のため、副会長の松尾委員からご報告をお願いします。</p>
松尾委員	<p style="text-align: center;">(資料1-②に基づき説明)</p>
岸田会長	<p>ありがとうございました。続きまして、所管課より説明をお願いいたします。</p>
地域包括支援課長・介護保険課長	<p style="text-align: center;">(資料1-②、当日配布資料1、2に基づき説明)</p>
岸田会長	<p>それでは、委員の皆様からご意見やご質問などはございますでしょうか。</p>
森高委員	<p>当日配布資料2の保険給付費の見込みについて、年々給付費が増加していることが分かりますが、要因についてはどのように分析をしていますか。</p>
介護保険課長	<p>対象となる被保険者数の増加が、保険給付費の増加につながる一つの要因と考えております。</p>

森高委員	<p>被保険者数の伸び率以上に、保険給付費の伸び率が大きく増加しているように感じますがいかがでしょうか。</p>
地域包括支援課	<p>資料 1-②の 17 ページをご覧ください。こちらに年齢区分別の人口増減の見通しを示すグラフがございます。要介護認定率については、65 歳の方と 90 歳以上の方とで大きく異なり、一般的には年齢の上昇に伴い介護保険の利用率が増加すると言われております。グラフのとおり、特に介護保険の利用割合が高い 85 歳以上の人口が今後急増する見込みです。</p> <p>介護保険給付費の上昇についても、単純な第一号被保険者数の増加でなく、その中でも、特に高い年齢層の人口増加に伴うものとなっております。</p>
森高委員	<p>どのサービスを利用されている方が増えているのかについてもお聞かせください。</p>
地域包括支援課	<p>傾向としては、訪問系サービスを利用される方が増えております。</p>
岸田会長	<p>人口の伸びと保険給付費の伸びには、第一号被保険者の年齢構成や平均寿命の伸びが関係しており、また、訪問系サービスを利用する方が増えているということですね。</p>
岩松委員	<p>資料 1-②の 28 ページについてです。「高齢者の健康づくり・介護予防の推進」が未達成となってしまった原因はどのようにお考えでしょうか。</p>
地域包括支援課	<p>アンケート調査の結果、「閉じこもり」、「運動機能」、「認知症」のそれぞれについて、リスクを抱える高齢者の割合が前回調査よりも増えていたため、未達成としております。</p>
岩松委員	<p>今後の健康づくりを考えると、いろいろな地域の活動団体の取り組みに対し、共通のテーマや方向性を示すことが大切かと思えます。</p> <p>自治会と社会福祉協議会を例とすれば、各地区の社会福祉協議会は、自治会から福祉委員を派遣してもらい、サロン活動などを行っている一方、自治会は自治会の柱をベースとして、地域の人々の関係作りのために活動しております。しかし、お互いの活動には「健康づくり」という共通テーマはありません。そのため、団体との交流を束ねる中間的立ち位置にいる市川市社会福祉協議会が、各地区の活動に関わっていただきたいと思えます。</p>

地域包括支援課長	<p>来年度に向けて、認知症地域支援推進員と生活支援コーディネーターを高齢者サポートセンターに配置いたしましたので、このようなこともコミュニティソーシャルワーカーなどと連携しながら、高齢者の健康づくりや介護予防の情報共有、また不足しているサービスが何かといった実態を把握しながら、地域の方々の活動に合わせた支援をしていきます。</p>
岸田会長	<p>最近の研究では、高齢期のフレイルの背景には社会的なフレイルというものがあり、社会との関わりが希薄になることで身体、精神ともに衰えていきやすいことがわかっています。</p> <p>社会福祉協議会やコミュニティソーシャルワーカーとの連携を深め、地域で集まる場が増えれば、高齢者の心身の活性化につながり、保険給付費の減少につながるかと思えます。</p> <p>また、当日配布資料2についてですが、人口問題研究所の新たな人口推計が出ましたら、資料の内容は修正されるのでしょうか。</p>
介護保険課長	<p>最新の人口推計の結果も踏まえ算定いたします。</p>
山崎委員	<p>私どもボランティア協会は、社会福祉協議会、市川市のボランティア・NPO課と3か月に一度会合を行い、市民のために何ができるか協議を進めております。先ほどお話があった高齢者のフレイルにつきましても、課題にし、何ができるか模索していきたいと思えます。</p>
村山委員	<p>資料1-②の75ページの「共生型サービス事業所の支援」について、共生型サービスが高齢部門から見てどの程度進んでいるのか、本当に必要とされているかなどがわかるように記載していただくとよいと思えます。</p>
岸田会長	<p>使い慣れたサービスを使い続けたいといった希望もあるかと思えます。</p> <p>また、事業所として安定的な経営を図るためにも、こちらはさらに厚みを増していただきたいと思えました。</p>
松村委員	<p>コミュニティソーシャルワーカー、生活支援コーディネーター、民生委員の業務内容が似ていると感じますが、違いを教えてください。</p>
地域共生課長	<p>まず、コミュニティソーシャルワーカーの役割については、社会福祉に関する知識やネットワークを活かし、地域において生活上の課題を抱えるあらゆる個人や家族に対する個別の支援、また、地域全体で取り組む活動を総合的にコーディネートすることです。</p>

	<p>また、生活支援コーディネーターについては、市全域に第一層支援コーディネーター、また、日常生活圏域には第二層支援コーディネーターを配置していましたが、令和5年7月から第二層支援コーディネーターを高齢者サポートセンターに配置いたしました。役割としては、高齢者支援に特化しており、ニーズ等の情報を把握し、課題解決に向け相談支援を行っています。</p>
松村委員	<p>生活支援コーディネーターは高齢者をメインに活動をしており、一方でコミュニティソーシャルワーカーは福祉を必要としている全世代を対象として活動をしているということでしょうか。また、民生委員などの地域の声を拾っている方々との繋がりを明確にさせていただきたいと思います。</p>
地域共生課長	<p>支援者間の連携につきましては、しっかり強化していきたいと考えております。また、連携については資料1-①-1の38ページに、「包括的な支援体制の図」を掲載しておりますのでそちらも参考にいただければと思います。</p>
<p>③第5次いちかわハートフルプラン</p>	
岸田会長	<p>それでは次に、「③第5次いちかわハートフルプラン」について、障がい者福祉専門分科会の会長である丸谷委員より報告をお願いいたします。</p>
丸谷委員	<p>(資料1-③-1から資料1-③-2に基づき説明)</p>
岸田会長	<p>続きまして、所管課より補足など何かございますか。</p>
障がい者支援課長	<p>補足等はありません。</p>
岸田会長	<p>計画の第1部には総論が載っており、各章の内容もぱっと見てよく分かる内容でした。また、自立支援協議会などの意見も集約されているので、非常に丁寧に作っていただいたことが分かりました。</p> <p>それでは委員の皆様からご意見やご質問などはございますでしょうか。ご意見、ご質問などが特になければ、次の議題に移らせていただきます。</p>

(2)第 8 期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 計画値と実績値のモニタリング（令和 4 年度分）	
岸田会長	それでは、議題「(2)第 8 期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 計画値と実績値のモニタリング（令和 4 年度分）」についてです。所管課 より説明をお願いします。
介護保険課長	（資料 2 に基づき説明）
岸田会長	ただいま、所管課より説明がありました。 委員の皆様からご意見やご質問などはございますでしょうか。 ご意見、ご質問などが特になければ、次の議題に移らせていただきます。
(3)その他	
岸田会長	議題（3）「その他」についてです。本日「その他」の議題はあります でしょうか。
事務局	本日、「その他」の議題はございません。
岸田会長	それでは、令和 5 年度第 3 回市川市社会福祉審議会を終了いたします。

(11 時 30 分閉会)

市川市社会福祉審議会
会長 岸田 宏司